



校長室だより

学校教育目標「自ら学ぶ子供」

八代市立八代小学校
校長 村嶋 博史

R6,4,23 No,5



八代小ホームページ

子供たちは地域の方々に見守られています

4月16日(火)、朝の校門付近に「おはようございます」「いってらっしゃい」の音が響いていましたので、誰の声だろうとのぞいてみると、地域の民生委員の方の声でした。子供たちの安全を守るために交通指導をしていただけていました。

笑顔で、時にはハイタッチをしながらの見守りに、子供たちも思わず笑顔になっていました。そして、「立ち止まって挨拶する子供がいますね」と感心されていました。

学校教育活動が地域の方々を支えられていることを改めて実感したところです。ご多用の中、わざわざ交通指導をしていただき、誠にありがとうございました。



朝の児童会及びボランティア活動に頑張っています

朝、子供たちと挨拶を交わそうと、校庭をうろうろしていると、額に汗して草花を抜いている子供たちの姿がありました。

この子供たちは、環境委員会の企画で行われているボランティア活動に集まった子供たちでした。その姿は「立派・感心」に尽きます。

自分の意思で自発的に他人や学校のために、自ら労力を提供するボランティア活動に励むことで、豊かな人間性が育まれることは言うまでもありません。これからも大いに応援していきます。

※このボランティア活動は、毎週水曜日、7時50分から10分間程度行われています。



朝の児童会及びボランティア活動に頑張っています その2

上述したボランティア活動の翌日の朝のことです。今度は、児童昇降口付近で数十人の子供たちの集まりを見付けました。どうやら、「あいさつ日本一運動」の始まりのようです。

これは、児童会の運営委員会が主になって、募ったボランティアの子供たちと共にやっている運動です。この活動も自治的な活動であり「立派・感心」に尽きます。

子供たちが考案した「あいさつ推進キャラクター『ピカポカ君』」を真ん中に、「日本一の看板」も掲げながら、登校してくる子供たちへ気持ちの良い挨拶をしていました。この「あいさつ日本一運動」も大いに応援していきます。

その後、職員玄関に向かうと、今度は環境委員会の子供が植物に水かけをしていました。この姿も「立派・感心」に尽きます。

子供たちは、学校を明るく豊かで過ごしやすい場所にしようと、朝から頑張っています。



家庭(玄関先)訪問では、ご多用の中にわざわざ時間をつくっていただき、誠にありがとうございます。短時間ではありますが、お話できたことは、今後のご家庭と学校の連携強化に繋がるものだと思っています。これを機に、些細なことでも構いませんので、お子様のことで気になることがあれば早い段階でご連絡ください。連絡先は「校長室だよりNO,3」をご覧ください。